

SHARP®

取扱説明書

サウンドパートナー

形名 **AN-SS1**



お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく
お使いください。

- ご使用の前に、「安全上のご注意（→ **3** ページ）」
を必ずお読みください。
- 取扱説明書（本書）の裏表紙が保証書になっています。
「かんたん接続ガイド」（別冊）とともにいつでも見る
ことができる場所に必ず保存してください。

Printed in Vietnam

92LPK87000120E

19P05-VI-ND

もくじ

・本書に掲載しているイラストは説明用のものであり、実際の表示とは多少異なります。

安全上のご注意	3
同梱物	12
各部のなまえ	13
インジケータ表示	14
テレビと接続する	15
本機を充電する	17
機器登録(ペアリング)をする	19
Bluetooth機器と接続し音楽を聞く	21
通話のしかた(コール機能)	24
Bluetooth送信機と接続する	26
テレビの音声を聞く	28
「故障かな?」と思ったら	30
おもな仕様について	32
商標	34
使用上のご注意	35
Bluetooth無線技術について	36
Bluetooth機器について	40
廃棄時のお願い	42
保証とアフターサービス	50
お客様相談窓口のご案内	52
無料修理規定	54
保証書	巻末

安全上のご注意

ご使用前に「安全上のご注意」を必ず読み、正しく安全にご使用ください。

- この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。



危険

人が死亡または重症を負う危険が切迫して生じるおそれがある内容を示しています。



警告

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。



注意

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

(図記号の一例です)



.....
してはいけない
ことを表しています。



.....
気をつける必要がある
ことを表しています。



.....
しなければならない
ことを表しています。

安全上のご注意 (つづき)

危険



禁止

サウンドパートナーを火の中に入れたり、加熱したり、高温になる場所に放置したりしない

- ・ 火災・感電の原因となります。



禁止

航空機内で使わない

- ・ 電波が影響をおよぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

警告



禁止

煙やにおい、音などの異常が発生したら、使用を中止する

- ・ 異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。修理を販売店にご依頼ください。お客様自身による修理は絶対におやめください。

警告



禁止

湿気やほこりの多い場所、油煙や湯気が当たる場所、または調理器具や加湿器の近く、硫化ガス (H_2S 、 SO_2) が大気中に含まれる温泉地などには設置しない

- ・ 火災・感電の原因となることがあります。
- ・ 大気中に含まれる硫化ガス (H_2S 、 SO_2) に長期間さらされると、硫化により金属が腐食し、故障の原因となることがあります。



禁止

異常に温度が高くなる場所には置かない

- ・ 特に真夏の車内や車のトランクの中は、想像以上に高温になります。サウンドパートナーを絶対に放置しないでください。火災の原因になることがあります。
また、外装ケースや内部部品が劣化する原因にもなりますのでご注意ください。

安全上のご注意 (つづき)



禁止

内部に物や水などを入れない

- ・ サウンドパートナーの開口部から内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



禁止

車の中で操作しない

- ・ サウンドパートナーが落下したり、音声により緊急時の音声聞き取りにくいなど、運転の妨げになり、事故やケガの原因となる場合があります。



禁止

台所／浴室や屋外など、本機に水が入るような使いかたをしたり、ぬらしたりしない

- ・ サウンドパートナーは防水仕様ではありません。水などでぬれた場合、火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、湾岸、水辺での使用は特にご注意ください。



警告



禁止

Bluetooth 機能は病院内で使用しない

- ・ 医療機器の誤作動の原因となることがあります。



禁止

Bluetooth 機能を使用するときは、心臓ペースメーカー等埋込み型医療機器の装着部位から 22cm 以上離して使用する

- ・ 電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。



禁止

サウンドパートナーを破損したときは、使用を中止する

- ・ そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。販売店にご連絡ください。



保管するときは、水、アルコール、ベンジンなどから離してください。可燃性物質との接触を避けてください

- ・ 外装ケースや内部部品が変質したり、劣化し、故障の原因となる場合があります。

安全上のご注意 (つづき)



禁止

サウンドパートナー本体が直接肌に触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- ・そのまま使用すると、炎症やかぶれなどの原因になることがあります。



禁止

通電中のサウンドパートナー本体に長時間素肌を直接触れない

- ・長時間直接触れていると、低温やけどの原因になることがあります。



禁止

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

- ・火災・事故の原因となる場合があります。



禁止

サウンドパートナーの上に重いものを置かない

- ・外装ケースが変形したり、故障の原因となる場合があります。

注意



禁止

大音量で長時間つづけて聴かない

- ・ 耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聴くと聴力障害を起こすことがあります。



禁止

はじめから音量を上げすぎない

- ・ 突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



禁止

周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない

- ・ 交差点や踏切、工事現場など、周囲の音が聞こえないと危険な場所では安全に十分注意してください。交通事故の原因となります。



長期間使用しないときも定期的に（6ヶ月に一度以上）充電してください

- ・ 充電できなくなる場合があります。

安全上のご注意 (つづき)



充電機についての安全上のご注意

- 本機ではリチウムイオン充電機を使用しています。
- 液もれ・破裂・発熱による大けがや失明を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。



指定の
ケーブルを
使用する

充電する時は、パソコンまたは USB 給電機の USB 端子に付属の USB ケーブルを接続して使用する

- 他の機器による充電は、電池の液もれや、発熱、破裂の原因になることがあります。



指示

雷が鳴り出したら、充電を中止し、USB ケーブルを外す

- 火災・感電の原因となることがあります。



ぬれ手禁止

ぬれた手で USB ケーブルを抜き差ししない

- 感電の原因となることがあります。



指示

充電池の液がもれたときは素手で触らない

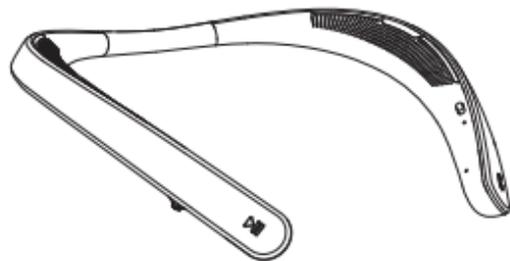
- 充電池の液が目に入ったときは、失明のおそれがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こすおそれがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

充電式電池について

- 充電池には寿命があります。保管方法、使用状況や環境により、充電池の容量が低下します。使用できる時間が極端に短くなった場合、当社の相談窓口にご相談ください。

同梱物

サウンドパートナー本体



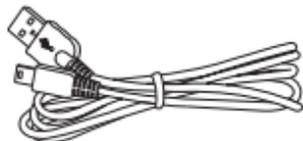
Bluetooth 送信機



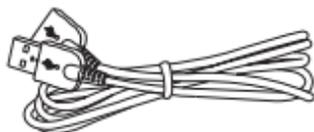
送信機固定用テープ



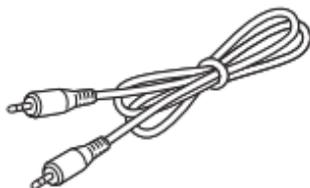
マイクロ USB 充電ケーブル



USB 延長ケーブル



オーディオケーブル (3極Φ3.5mm)



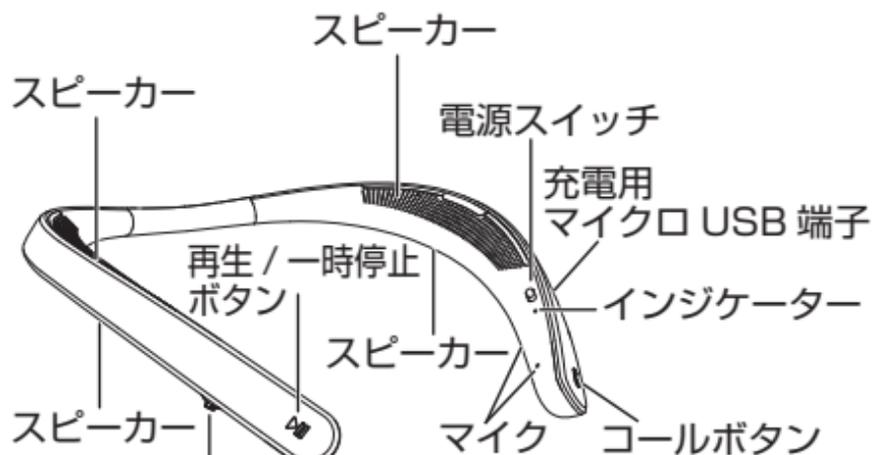
取扱説明書 (保証書付) 本書
かんたん接続ガイド

※当商品は日本国内向けであり、日本語以外の説明書はございません。

This model is designed exclusively for Japan, with manual in Japanese only.

各部のなまえ

サウンドパートナー本体



ジョグボタン

音量調整・前の曲/次の曲の頭出し・
モードの変更を行います。

各部のなまえ (つづき)

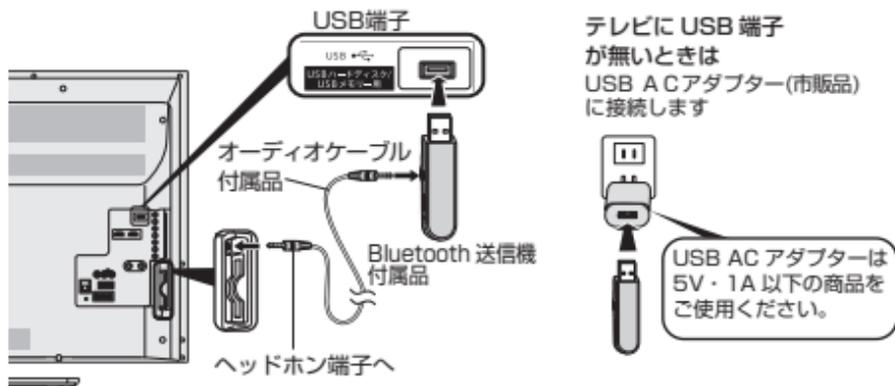
インジケータ表示



状態	インジケータ表示
電源入 電源入り、バッテリー状態、 Bluetooth 接続状態を 順次表示します。	青4回点滅
	バッテリー表示 3回点滅 (青 / 紫 / 赤)
	Bluetooth 接続 状態表示 (下記)
電源切り	青4回点滅
充電中	赤⇒紫 (約80% 充電)
満充電	青
Bluetooth ペアリング中	赤・青が交互点滅
Bluetooth ペアリング完	青 (約5秒に1回点滅)
通話・音楽再生中	青 (約5秒に1回点滅)

テレビと接続する

- 付属の Bluetooth 送信機をテレビに取り付けると本機でテレビの音声が楽しめます。
 - 接続図は例です。端子の向きなどにより、図のようにならない場合があります。

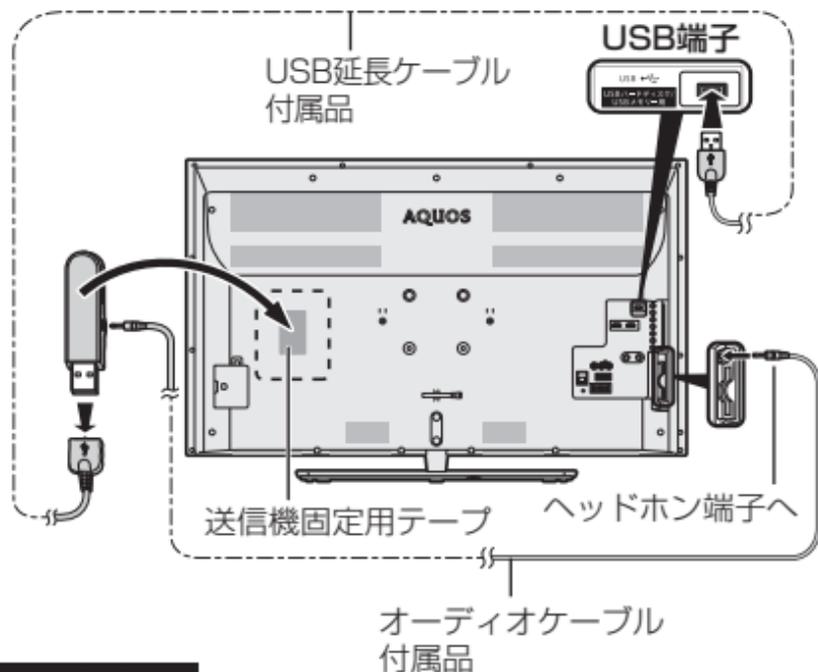


- オーディオケーブルをテレビのヘッドホン端子に接続した状態では、テレビのスピーカーから音声が出ません。
- テレビのスピーカーとサウンドパートナー（本機）の両方から音声を出したときはテレビの取扱説明書をご覧ください。
- Android TV の USB 端子に Bluetooth 送信機を接続した場合、テレビのスピーカーから音声が出力されません。サウンドパートナーを使用しないときは、Bluetooth 送信機を USB 端子から抜いてください。

テレビと接続する (つづき)

他の端子と接触し接続できないときは

- 付属の USB 延長ケーブルを使い接続します。
- 付属の Bluetooth 送信機をテレビなどに貼り付けて使用するときには、付属の送信機固定用テープを使い貼り付けます。



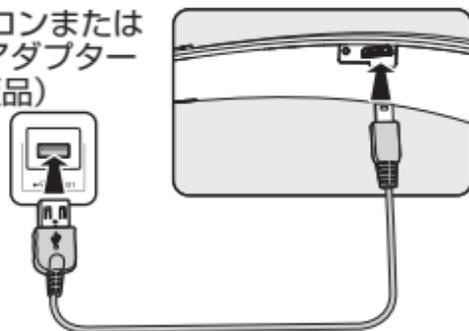
ご注意

- 送信機固定用テープをテレビなどに貼り付けるときは、通風孔などをテープでふさがないようにご注意ください。

本機を充電する

- 本機を充電するときは、付属または市販のマイクロ USB (Micro-B) 充電ケーブルをご使用ください。
 - 本機とパソコン、または USB AC アダプター (市販品) を接続します。(USB AC アダプターは 5V・1A 以下の商品をご使用ください)
- 1 充電端子部カバーを開けてマイクロ USB 充電ケーブルを接続します
 - 2 パソコンまたは USB AC アダプター (市販品) の USB 端子部に接続します
 - 電源が「入」のときは電源が切れます。

パソコンまたは
AC アダプター
(市販品)



本機を充電する (つづき)

充電中のインジケータ表示



インジケータ	赤	紫	青
充電状態	充電	約80% 充電	満充電

お知らせ

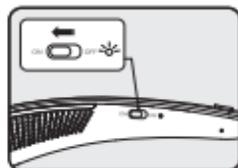
- 極端に温度が低い状態で充電した時は、十分に充電されていない場合があります。
- 機能を維持するために半年に1度は充電することをお勧めします。

機器登録（ペアリング）をする

Bluetooth 機器を登録（ペアリング）する

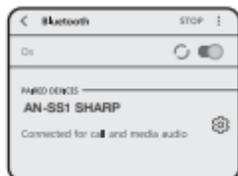
1 電源スイッチを「ON（入）」側にスライドします

- ペアリングモードになりインジケータが青点灯します。
- ペアリングできずに約3分が経過すると自動で電源が切れます。



2 Bluetooth 搭載機器でペアリング可能な機器を検索します

- Bluetooth 搭載機器に表示される「検出した機器の一覧」に「AN-SS1 SHARP」と表示されます。（Bluetooth 搭載機器の操作について詳しくは、お使いの Bluetooth 搭載機器の取扱説明書をご覧ください。）
- ペアリングが完了すると音声でお知らせします。



機器登録（ペアリング）をする（つづき）

新たな機器とペアリングするとき

- 1 電源を入れたあと、「再生・一時停止」ボタンと「コール」ボタンを同時に2秒以上押してください。
 - ペアリングモードになりインジケーターが青点灯します。
- 2 Bluetooth 機器でペアリング可能な機器を検索します。

お知らせ

- 本機は、最大8台までペアリング情報を登録できます。新たな機器とペアリングを行うと最初にペアリングを行った機器の情報が削除されます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。
- 一度ペアリングした機器が接続できないときは、再度ペアリング操作を行ってください。
- ペアリングした複数の機器がBluetooth接続状態のときは、最後にペアリングした機器が接続されます。それ以外の機器と接続したいときは、接続機器以外のBluetooth接続を解除してください。
- Bluetooth機器のセキュリティー機能により、機器によってはペアリングできない場合があります。

Bluetooth 機器と接続し音楽を聞く

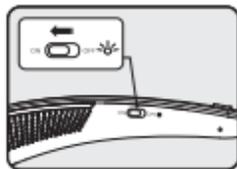
Bluetooth 機器と接続するとき、下記についてご確認ください。

- 接続する機器の Bluetooth 機能が ON になっている。
- 本機とペアリングが完了している。
- 本機より 10m 以内の場所で操作している。

Bluetooth 機器を接続する

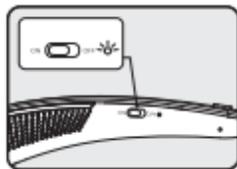
1 電源スイッチを「ON (入)」側にスライドします

- 接続モードになりインジケータが赤色と青色で交互に点滅します。



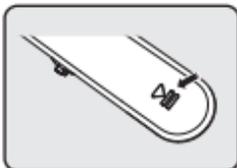
2 接続が完了

接続が完了するとインジケータが約5秒に1回点滅します。



3 再生する

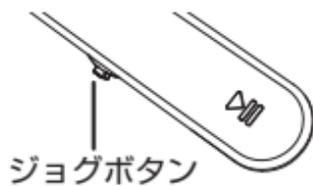
Bluetooth 機器と接続したときは「再生 / 一時停止」ボタンを押します。



Bluetooth 機器と接続し音楽を聞く (つづき)

音量を調整したり曲を頭出しする

音量の調整や曲の頭出しなどの操作は「ジョグ」ボタンで行います。



ジョグボタンを「+」または「-」方向にクリックすると音量が調整できます。

- 音量が最大になると「ピー」音でお知らせします。
※音量は1回のクリックで1段階変化します。
長押ししても音量は変わりません。
- 音量を最大にしても音量が小さいときは、機器側の音量を上げて調整してください。

ジョグボタンを「+」または「-」方向に1秒以上スライドすると、曲の頭出しができます。

- 「-」側にスライドすると、次の曲を頭出しします。
- 「+」側にスライドすると、前の曲を頭出しします。

主な再生操作について

機能	操作ボタン
再生 / 一時停止する	再生 / 一時停止ボタンを押します。
音量を調整する	ジョグボタンを「+」または「-」側にクリックします。
前の曲を頭出しする	ジョグボタンを「+」側に1秒以上スライドし続けます。
次の曲を頭出しする	ジョグボタンを「-」側に1秒以上スライドし続けます。
アコースティックバイブモードを入りにする	ジョグボタンを2秒以上押し続けます。
音声コントロールを有効にする	コールボタンを押します。 モバイル機器の音声コントロール機能にアクセスして、通話したり、音楽を再生したり、天気を尋ねたり、スポーツのスコアを調べたりすることなどができます。 • モバイル機器が対応していないときはこの機能は動きません。

通話のしかた（コール機能）

スマートフォンなどモバイル機器と Bluetooth 接続されているときに、電話を受けることができます。

電話を受ける・切る

- ・着信を受けたら「コール」ボタンを押します。
- ・通話を終了するときにはコールボタンを再度押します。

主なコール操作について

機能	操作ボタン
リダイヤル機能	コールボタンを3秒間押し続けます。
音声コントロールにアクセスして電話をかける	コールボタンを押し通話します。 ・モバイル機器が対応していないときはこの機能は働きません。
携帯電話に音声を切り換える	ジョグボタンを「+」側に2秒間スライドし続けます。
2番目の着信コール接続する	コールボタンを1秒間押し続けます。 ・通話を保留し、2番目の着信と通話します。再度1秒間押し続けると最初の通話に戻ります。
着信コールを拒否する	コールボタンを1秒間押し続けます。

主なコール操作について (つづき)

機能	操作ボタン
通話をミュートにする	再生 / 一時停止ボタンを1秒間押し続けます。
通話ミュートを解除する	ジョグボタンを押してください。

お知らせ

- スマートフォンなどモバイル機器が対応していないコール機能は動きません。

Bluetooth 送信機と接続する

付属の Bluetooth 送信機をテレビなどと接続すると本機で音声を聞くことができます。

Bluetooth 送信機とペアリングする

- 1 Bluetooth 送信機をテレビなどに接続します (15 ページ)
- 2 Bluetooth 送信機の接続ボタンを約3秒間押し続けます

Bluetooth 送信機のインジケータが青点滅します。



- 3 本機の電源を入れます
 - ペアリングが完了すると接続機器の音声がスピーカーから聞こえます。
 - 自動でペアリングができないときは、「再生 / 一時停止」ボタンと「コール」ボタンを約2秒間押し続けてください。

お知らせ

- Bluetooth 送信機について
-Bluetooth 送信機は AN-SS1 専用です。他の機器には接続できません。

オーディオケーブル接続端子



接続ボタン

インジケータ

インジケータ表示

状態		インジケータ表示
電源入	初めて接続	インジケータ青が30秒間すばやく点滅し、5秒毎に3回すばやく点滅します。
	接続済み	インジケータ青が5秒毎に2回すばやく点滅します。
電源切り		インジケータが消灯します。
ペアリング中		インジケータ青が30秒間すばやく点滅し、5秒毎に3回すばやく点滅します。
接続中		インジケータ青が5秒毎に1回点滅します。

テレビの音声を聞く

付属の Bluetooth 送信機をテレビに装着し、本機と接続することでテレビの音声を聞くことができます。首にかけた状態で気にならず音声が楽しめます。

テレビ音声を聞くための準備

- テレビに付属の Bluetooth 送信機を接続します
(15 ページ)
- Bluetooth 送信機をペアリング (登録) します
(26 ページ)

テレビの音声を聞く

- 1 ペアリングされた Bluetooth 送信機をテレビに装着します
- 2 付属のオーディオケーブルをテレビのヘッドホン端子と Bluetooth 送信機のオーディオケーブル接続端子に接続します
- 3 テレビの電源を入れ、本機の電源を入れます
 - 接続されるとテレビの音声が本機から聞こえてきます。
 - 接続されないときは、「再生 / 一時停止」ボタンと「コール」ボタンを約 2 秒間押し続けてください。

本機でテレビ音声を聞いているときに音声をミュートする

- 「再生 / 一時停止」 ボタンを押します
 - 押すたびに「音声ミュート」 ⇔ 「解除」となります。

ヒント

- 本機の音量を上げてもテレビの音声が小さく聞きづらいときは、ヘッドホンの音量を上げてください。
- テレビに音声出力端子があるときは、付属のオーディオケーブルを音声出力端子に接続します。
- テレビと本機の両方から音声を出力したいときはテレビ側のヘッドホン端子設定を行います。(テレビによっては、両方から音声を出力する機能が無いものもあります。)
- ヘッドホン端子に音声ケーブルを接続した状態でテレビのスピーカーから音声が出力されない商品の場合、テレビのスピーカーで音声を聞くときは、オーディオケーブルをヘッドホン端子から抜いてご使用ください。
- 本機は付属のBluetooth送信機 1 個に対して、サウンドパートナーを 2 台接続することができます。
2 台目を接続したいときは、Bluetooth 送信機の「接続ボタン」を 3 秒以上押し続け (26 ページ手順 2) ペアリング状態にしてから、2 台目のサウンドパートナーの電源を入れてください。

「故障かな？」と思ったら

次のような場合は故障でないことがありますので、修理を依頼される前にもう一度お調べください。

こんなときに	ここをお確かめください
音が出ない	<ul style="list-style-type: none">• 音量が最小になっていませんか。• Bluetooth 搭載機器の音量が「0」になっていませんか。• 接続している機器の電源は入っていますか。• 接続している機器が本機と正しく接続されていますか。• 別の Bluetooth 機器をペアリングして、使用したい機器のペアリング情報が削除されていませんか。ペアリングをやり直してください。• 本機と Bluetooth 搭載機器との距離が遠すぎませんか。• 本機と Bluetooth 搭載機器とのペアリングが正しく行われていますか。• 接続機器の Bluetooth 設定が「切」になっていませんか。
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	<ul style="list-style-type: none">• 本機の電源を一度切って再度電源を入れ直してください。

こんなときに	ここをお確かめください
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> • 充電が少なくなっている可能性があります。付属の USB ケーブルを使用して充電を行ってください。 • 充電しても電源が入らない、または直ぐに電源が切れてしまうときは充電電池の消耗が考えられます。
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の電源を一度切って再度電源を入れ直してください。
スピーカーの片側からしか音が出ない	<ul style="list-style-type: none"> • オーディオケーブルが正しく挿入されていない可能性があります。Bluetooth 送信機およびテレビの端子にケーブルのプラグを奥まで挿入して下さい。 • テレビのヘッドホン端子の近くに USB 端子があり、プラグが挿入しにくい場合は、付属の USB 延長ケーブルをご利用ください。(16 ページ)
音が途切れたり、歪む	<ul style="list-style-type: none"> • 本機の近くでラジオ受信機やトランシーバー、防災無線機などの無線機器を使用していないですか。 • 本機と Bluetooth 搭載機器との間に障害物はありませんか。

おもな仕様について

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

品名	サウンドパートナー
形名	AN-SS1
電源	DC 3.7V/420mAh (内蔵リチウムイオン充電機)、 DC 5V 230 mA (microUSB を接続して充電時)
音楽再生時間	約 14 時間※1 (JEITA 規格で測定 約 8 時間)
連続通話時間	約 17 時間
充電機充電時間	約 2 時間 30 分※1
寸法	181mm (幅) × 181mm (奥行) × 16mm (高さ)
質量	88g
端子	マイクロ USB (Micro-B) 端子 (充電用)
使用周波数帯域	2.402GHz - 2.480GHz
通信方式	Bluetooth 4.1 (HSP / HFP / A2DP / AVRCP プロファイル)
到達距離	約 10m (Class2)
著作権保護	SCMS-T
対応コーデック	SBC (Subband Codec)/FastStream ※2

音声出力	RMS（実用最大出力）：1.4W（10% T.H.D）（JEITA ※ 3）
マイク	マイク（ハンズフリー用）
使用温度範囲	0℃～ 40℃

※ 1 周囲の温度や使用される状態により、時間が異なる場合があります。

※ 2 付属の Bluetooth 送信機使用時。

※ 3 実用最大出力は、JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

品名	Bluetooth 送信機
寸法	10.4mm（幅）× 18mm（奥行）× 67mm（高さ）
質量	9.5g
端子	USB 端子 オーディオケーブル接続端子 （3 極 φ 3.5mm）
使用周波数帯域	2.402GHz - 2.480GHz
通信方式	Bluetooth 4.2（HFP / A2DP / AVRCP プロファイル）
到達距離	約 10m（Class2）
使用温度範囲	0℃～ 40℃

商標

- Qualcomm[®] aptX[™] audio は、Qualcomm Technologies international.Ltd. の製品です。
Qualcomm[®] は、米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Incorporated の商標であり、許可を得て使用しています。
aptX[™] は、米国およびその他の国で登録されている Qualcomm Technologies international.Ltd. の商標であり、許可を得て使用しています。
- FastStream は、米国およびその他の国々で登録された Cisco 社の商標です。
- Bluetooth[®] のワードマークおよびロゴは Bluetooth SIG, Inc. が所有する登録商標であり、シャープはこれらのマークをライセンスに基づいて使用しています。その他、本書に記載されているシステム名、製品名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。
- その他、本書に記載されているシステム名、製品名、サービス名は、一般に各開発メーカーの登録商標あるいは商標です。なお、本文中では[®]、[™] マークは明記していません。

使用上のご注意

お手入れのしかた

- 汚れは柔らかい布で軽くふき取ってください。化学雑巾(シートタイプのウェット・ドライのものも含め)をご使用になれますと、本体キャビネットの成分が変質したり、ひび割れなどの原因となる場合があります。
- 汚れがひどいとき、大量の汗などで湿ったときは、柔らかい乾いた布で拭き取ってください。

ご注意

- ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。



- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはシャープお客様相談窓口まで、ご連絡ください。
- お客様もしくは第三者がこの製品の使用を誤ったことにより生じた故障、不具合、またはそれらに基づく損害については、法令上の責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

Bluetooth 無線技術について

Bluetooth 無線技術は、パソコンや携帯電話などのデジタル機器同士で通信を行うための近距離無線技術です。およそ 10m 程度までの距離で通信を行うことができます。

必要に応じて 2 つの機器をつなげて使うのが一般的な使いかたですが、1 つの機器に同時に複数の機器をつなげて使うこともあります。

無線技術によって USB のように機器同士をケーブルでつなぐ必要はなく、また、赤外線技術のように機器同士を向かい合わせたりする必要もありません。例えば片方の機器をかばんやポケットに入れて使うこともできます。

Bluetooth 標準規格は世界中の数千社の会社が賛同している世界標準規格であり、世界中のさまざまなメーカーの製品で採用されています。

Bluetooth 機能のプロファイル

プロファイルとは、Bluetooth 機器の特性ごとに機能を標準化したものです。

対応 Bluetooth プロファイル：

- － A2DP (Advanced Audio Distribution Profile) :
高音質なステレオ音声を伝送するためのプロファイルです。
- － AVRCP (Audio/Video Remote Control Profile) :
音量の大小、再生の操作をするためのプロファイルです。
- － HFP (Hands-Free Profile) :
ハンズフリーで通話するためのプロファイルです。
- － HSP (Head Set Profile) :
ヘッドセット/携帯電話と通信するためのプロファイルです。

ご注意

- Bluetooth 機能を使うには、相手側 Bluetooth 機器が本機と同じプロファイルに対応している必要があります。ただし、同じプロファイルに対応していても、Bluetooth 機器の仕様により機能が異なる場合があります。
- Bluetooth 無線技術の特性により、送信側での音声・音楽再生に比べて、本機側での再生がわずかに遅れます。

通信有効範囲

見通し距離で約 10m 以内で使用してください。

以下の状況においては、通信有効範囲が短くなることがあります。

- － Bluetooth 接続している機器の間に、人体や金属、壁などの障害物がある場合
- － 無線 LAN が構築されている場所
- － 電子レンジを使用中の周辺
- － その他の電磁波が発生している場所

Bluetooth 無線技術について (つづき)

他機器からの影響

Bluetooth 機器と無線 LAN (IEEE802.11b/g) は同一周波数帯 (2.4GHz) を使用するため、無線 LAN を搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

- － 本機と Bluetooth 機器を接続するときは、無線 LAN から 10 m 以上離れたところで行う。
- － 10m 以内で使用する場合は、無線 LAN の電源を切る。

他機器への影響

Bluetooth 機器が発生する電波は、電子医療機器などの動作に影響を与える可能性があります。場合によっては事故を発生させる原因になりますので、次の場所では本機および Bluetooth 機器の電源を切ってください。

- － 病院内／電車内／航空機内／ガソリンスタンドなど引火性ガスの発生する場所
- － 自動ドアや火災報知機の近く

ご注意

- ・ 本機は、Bluetooth 無線技術を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth 標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容等によってセキュリティが充分でない場合があります。Bluetooth 無線通信を行う際はご注意ください。
- ・ Bluetooth 技術を使用した通信時に情報の漏洩が発生しても、弊社としては一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

-
- 本機と接続する Bluetooth 機器は、Bluetooth SIG の定める Bluetooth 標準規格に適合し、認証を取得している必要があります。ただし、Bluetooth 標準規格に適合していても、Bluetooth 機器の特性や仕様によっては、接続できない、操作方法や表示・動作が異なるなどの現象が発生する場合があります。
 - 本機と接続する Bluetooth 機器や通信環境、周囲の状況によっては、雑音が入ったり、音が途切れたりすることがあります。
 - Bluetooth の接続が完了する前に本機、または Bluetooth 搭載機器の電源を切るとペアリングが完了せず、ペアリングに関する情報は記憶されません。はじめからペアリングをやり直してください。
 - 本機は、最大 8 台までペアリング情報を登録できます。新たな機器とペアリングを行うと最初にペアリングを行った機器の情報が削除されます。ペアリング情報が削除された機器で再度音声を聞く場合は、ペアリングをやり直してください。

Bluetooth 機器について

機器認定について

本機は、電波法に基づく小電力データ通信システムの無線設備として、認証を受けています。従って、本機を使用するときに無線局の免許は必要ありません。

ただし、以下の事項を行うと法律に罰せられることがあります。

- ・本機を分解／改造すること

周波数について

本機は 2.4 GHz 帯の 2.402 GHz から 2.480 GHz まで使用できますが、他の無線機器も同じ周波数を使っていることがあります。他の無線機器との電波干渉を防止するため、次の事項に注意してご使用ください。

本機の使用上の注意事項

本機の使用周波数は 2.4 GHz 帯です。この周波数帯では電子レンジ等の産業・科学・医療用機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ライン等で使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局等（以下「他の無線局」と略す）が運用されています。

1. 本機を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本機と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに本機の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. 不明な点その他お困りのことが起きたときは、お客様相談窓口までお問い合わせください。



この無線機器は 2.4GHz 帯を使用します。変調方式として FH-SS 変調方式を採用し、与干渉距離は 10m です。

廃棄時のお願い

充電式電池のリサイクルご協力をお願い

充電式電池はリチウムイオン充電電池を使用しています。
この電池はリサイクル可能な貴重な資源です。
リサイクルにご協力をお願いします。リサイクルについては、各自治体の廃棄ルールに従ってください。
ご不明な点については弊社ご相談窓口までご相談ください。



リチウムイオン
充電電池のリサイクル
マークです。

Li-ion01

絶対に分解しないでください

保証とアフターサービス

保証書（巻末）

- 保証書は、「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
お買いあげの日から 1 年間です。
保証期間中でも、有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。
持込修理の対象商品を直接メーカーへ送付した場合の送料等や、出張修理を行なった場合の出張料は、保証期間内、保証期間外にかかわらずお客様のご負担となります。

使い方や修理のご相談など

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはシャープお客様相談室にお問い合わせください。（→ **52** ページ）

修理を依頼されるときは【持込修理】

- 「故障かな？と思ったら」（→ **30** ページ）を調べてください。
- SHARP オンラインサポートページの「Q&A よくあるご質問」や「故障診断ナビ」でも確認できます。

SHARP オンラインサポート：
<https://jp.sharp/support/>

- それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。
- 修理のご依頼は、保証書（本書）を添えてお買いあげの販売店にご持参ください。

お客様相談窓口のご案内

修理・使いかた・お手入れ・ご購入物などのご相談・ご依頼、および万一、製品による事故が発生した場合は、ご購入あげの販売店、または下記窓口へアクセスしてください。

ファクシミリ送信される場合は、製品の形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。



いつでも便利なWebサービス【シャープ オンラインサポート】

ご質問、お困りごとは、気軽にアクセス、しっかりアシスト!

オンラインサポート トップページ

<https://jp.sharp/support/>

シャープ お問い合わせ 検索

スマートフォンからでも
ご利用いただけます。



インターネットから修理のお申し込み

<https://jp.sharp/support/repair.html>

シャープ 修理相談 検索

スマートフォンからでも
ご利用いただけます。



■ QRコードについて

スマートフォンやタブレット端末のバーコードリーダーで読み取ってください。（読み取れない場合はアドレスを直接入力してください）

■ 取説に掲載のQRコードから誘導されるサイトについてのご注意（QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。）

- 当サイトおよび動画の視聴は無料ですが、通信料金はお客様のご負担となります。パケット定額サービスにご加入でないお客様は、高額になる可能性がございますのでご注意ください。
- スマートフォンにより、QRコード読み取りアプリケーションが必要となる場合があります。また、通信状況、機種、QRコード読み取りアプリケーションの種類、OSのバージョンによっては正常に動作しない場合があります。詳しくは、お使いの携帯電話会社にお問い合わせください。
アプリケーションのダウンロードに際して、万一お客様に損害が生じたとしても、当社は何ら責任を負うものではありません。
- 当社は、当サイト上のコンテンツやURLを予告なく変更、もしくは削除することがあります。

■ 製品の「よくあるご質問」への回答を24時間音声ガイダンスでご案内
(電話オペレーターにはつながりません)

自動音声案内 フリーダイヤル (携帯電話からもご利用いただけます) ☎ **0120 - 001 - 252**

■ご贈答品などでお買いあげの販売店がわからないときは

※当社では、確実なお客様対応のため、フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用のお客様に「発信者番号通知」をお願いしています。発信者番号を非通知に設定されている場合は、番号の最初に「186」をつけておかけください。

固定電話、PHSからは、フリーダイヤル 携帯電話からは、ナビダイヤル

☎ **0120 - 001 - 251**

☎ **0570 - 550 - 113**

■フリーダイヤル・ナビダイヤルサービスをご利用いただけない場合は…

電 話	FAX
050 - 3852 - 5122	06 - 6792 - 5993
〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

受付時間 ●月曜～土曜:9:00～18:00 ●日曜・祝日:9:00～17:00 (年末年始を除く)

【ご相談窓口におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて】

シャープ株式会社および関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただいております。

個人情報は適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。

個人情報の開示・訂正、利用訂正等の請求その他お問い合わせは、シャープ株式会社個人情報ご相談窓口にご連絡ください。

電話番号：[06-6792-8004 (受付時間：平日、9:00～12:00、13:00～17:00)]

個人情報の取扱いの詳細については、

<https://jp.sharp/privacy/index-j.html> をご参照ください。

無料修理規定

持込修理

保証期間中に故障が発生した場合は、製品と本書をご持参のうえ、お買いあげの販売店にご依頼し本書をご提示ください。

本書は、記載内容の範囲で無料修理または製品交換させていただくことをお約束するものです。

お買いあげ年月日、販売店名など記入もれがありますと無効です。記入のない場合は、お買いあげの販売店にお申し出ください。

ご転居、ご贈答品などでお買いあげの販売店に修理をご依頼できない場合は、取扱説明書に記載しております「お客様ご相談窓口のご案内」をご覧くださいのうえ、お客様ご相談窓口にお問い合わせください。

本書は再発行いたしません。大切に保管してください。

〈 無 料 修 理 規 定 〉

1. 取扱説明書などの注意書にしたがった正常な使用状態で、保証期間内に故障した場合には、本書に従い無料修理または製品交換いたします。
2. 保証期間内でも、次の場合には有料修理となります。
 - (イ) 本書のご提示がない場合。
 - (ロ) 本書にお買いあげ年月日・お客様名・販売店名の記入がない場合、または字句を書き換えられた場合。
 - (ハ) 使用上の誤り、または不当な修理や改造など、取扱説明書やそれに類する書面にて弊社が禁止している事項に抵触したことで発生した故障・損傷。
 - (ニ) お買いあげ後に落とされた場合などによる故障・損傷。
 - (ホ) 火災・公害・および地震・落雷・突風・風水害・塩害・ガス害(硫化ガス等)その他天災地変など、外部に原因がある故障・損傷。

- (ヘ) 一般家庭用以外(例えば業務用に使用、車両船舶に搭載)に使用された場合の故障・損傷。
 - (ト) 消耗部品(リチウムイオン充電電池)の自然消耗、摩耗、劣化等により部品の交換が必要な場合。
 - (チ) 電池の液漏れによる故障・損傷。
 - (リ) 持込修理の対象製品を直接メーカーへ送付した場合の送料等はおお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様負担となります。
 - (ヌ) お客様のご使用環境や維持・管理方法に起因して生じた故障および損傷の場合(例:ホコリ、錆、カビ、小動物の侵入・糞尿・損傷)
3. 製品の保証期間内であっても、弊社が別途定める当該製品の製造打ち切り後の補修用性能部品保有期間が満了し、かつ部品が手配できない場合は修理をお引き受けできないことがあります。
 4. 製品の状態やその他の事項により、修理に代えて製品交換で対応する場合がありますのでご了承ください。
 5. 環境への配慮や修理料金低減のため、修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。また、修理後、交換した部品は弊社が任意に回収のうえ適切に処理致します。
 6. 本書に基づき無料修理(製品交換を含む対応)を行った製品の保証期間は、最初のご購入時の保証期間が適用されます。
 7. お買いあげの製品が故障により使用出来なかったことによる損害については補償致しません。
 8. 本書は日本国内においてのみ有効です。
- ★ 本保証書はおお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理につきまして、くわしくは取扱説明書をご覧ください。

シャープ株式会社

〒590-8522 大阪府堺市堺区匠町1番地

お問合せ先：お客様相談センター

固定電話・PHSからは  0120-001-251

携帯電話からは  0570-550-113

IP電話などでフリーダイヤルサービス、または
ナビダイヤルサービスがご利用頂けない場合 050-3852-5122